



町営の幼稚園・保育園・児童館の効率的な運営を図るため、平成17年4月からの民営化実施に向けた検討が始まりました



田村剛一議員

機構改革

町立保育園の民営化のめどは

17年4月の実施を目指す

質問 四月一日より機構

改革が実施された。期待どおりの成果はあがっているか。問題点はないか。職員、町民からの評価はどうか。

今後とも改革は進められると思うが、当面の重点は。

沼崎町長 機構改革は、実施して、二カ月しか経過していないので、成果を求めるのは早計。町民からの評価についても、これといった反応はない。職員は、評価される立場であり、評価する立場にない。

当面の改革として、

- ① 事務事業の更なる見直し
- ② 町営の保育園、幼稚園の民営化と児童館運営の効率化
- ③ 使用料、手数料などの受益者負担の見直し
- ④ 時差出勤など多様な勤務形態の導入による職員の超過勤務の縮減を推進していく。

質問 町営保育園、幼稚園の民営化は、慎重に検討

町の考えを聞く

されるべきもの。どのような手立てで進めるつもりか。

川村総務課長 早急に審議会を設立し、各方面から

意見を聞き決めたい。方向性が出たら、議会に諮り、早ければ十七年四月から実施したい。

山田病院

医療体制の充実を強く望む 粘り強く医療局に要望

質問 県立山田病院の移転改築計画は順調に進んでいるのか。町の中核病院として機能するためには、医師の確保と共に医療施設の

充実が欠かせない。どのような新しい医療機器の導入が期待されているのか。

沼崎町長 六月中には事業認可が得られる見込み。多少の遅れはあっても予定どおり進むと考えている。

質問 医療機器をはじめ医療施設も充実しないと医師も患者も集まらない。計画どおりに進んでいるなら、手遅れにならないよう、新しい医療機器導入を強く働きかけるべきである。

新しい医療機器の導入は、病院自体でも基本設計の中で要望、検討していくと聞

横田保健福祉課長 文書での申し入れはしていないが、口頭では何度も要望している。今後もそうした方向で強く要望していきたい。